

Association of
Copyright for
Computer
Software



資料5

ACCSの海外活動

専務理事 事務局長
久保田 裕

社団法人
コンピュータソフトウェア著作権協会



ACCSの概要

ACCS

◆ 正式名称:

社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会
(Association of Copyright for Computer Software)

◆ 設立: 1985年10月

◆ 理事長: 辻本憲三

◆ 活動内容:

- 教育・広報啓発活動
- 権利執行支援活動
- 調査研究活動
- 著作権ビジネスの支援



「ACCS上海」設立趣旨

◆ 設立趣旨：

中国における基礎資料・現地情報の収集、関係機関等との「パイプ」づくり、マスコミを通じた広報啓発活動などを行い、会員企業の中国ビジネスを支援する。

◆ 設立経緯：

2003/07	ACCS理事会にて設置承認
2003/10	上海市内にて業務スタート。会員企業より業務委託を受ける
2004/05	上海市版權局から「知識産権園」へ入居要請
2005/05	事務所設立、正式業務スタート



「ACCS上海」事務所外観

ACCS

◆「上海知識産権園」

- ▶ 上海市の「科教興市」計画(科学教育による市の振興)に基づき、上海市知的財産局、上海市楊浦区政府の共同発起で設立された。
- ▶ 右「白麗大廈(ビル)」は上海知識産権園が管理している。



「ACCS上海」活動の概要

ACCS

- ◆ 日中間のコンテンツビジネス振興支援
- ◆ 内外の関係部局との連携
- ◆ 教育機関などに対する講演
- ◆ ゲーム・アニメ等の海賊版についての情報収集や対策の強化
- ◆ 日系企業のソフトウェア利用への注意喚起



日中間のコンテンツビジネス振興支援

ACCS

- ◆ 日中間コンテンツビジネスの“拠点”として、知的財産権に関する情報提供をはじめとした、総合的なビジネス支援を実施
 - 研修生招聘事業への協力((財)海外技術者研修協会「中国ゲーム産業知的財産研修コース」カリキュラム策定)
 - 上海「アニメ文化芸術系活動」支援(著作権に関するシンポジウム参加)



内外の関係部局との連携

- ◆ 現地政府機関や著作権団体などと連携して活動するため、情報交換などを実施

中国

- 政府機関： 国家版權局、上海市版權局 など
- 各種団体： 中国ソフトウェア連盟(CSA)
出版工作者協会
中国版權保護中心 など

日本

- 政府機関： 文化庁、経済産業省、警察庁 など
- 各種団体： コンテンツ海外流通促進機構(CODA)
国際知的財産保護フォーラム(IIPPF)
日本貿易振興機構(JETRO)など



教育機関などに対する講演

◆ 大学で講演を実施し、著作権・情報モラルの普及活動を展開

実施日	実施大学	受講者
2004/05/13	華東政法学院	学生約100人
2004/10/19	上海財經大学	学生約 60人
2004/10/20	華東師範大学	学生約 50人
2004/10/22	上海社会科学院	大学院生・研究員約 40人
2005/04/12	復旦大学	学生約 40人
2005/07/05	上海大学	大学院生・弁護士約 10人、学生約500人
2005/09/27・28	上海外国語大学	日本語学科生など約100人
2005/12/9	同濟大学	学生約 50人
2006/02/21	上海對外貿易学院	法学院学生約 70人
2006/04/22	清華大学	大学院生15人
2006/04/25	華東政法学院	法学院院生40人





ゲーム・アニメ等の海賊版についての 情報収集や対策の強化①

ACCS

- ◆ 調査活動を中心に、日本製コンテンツへの侵害状況を改善するための活動を実施



ゲーム・アニメ等の海賊版についての 情報収集や対策の強化②

ACCESS



- ◆ 上海調査 (2003年)
- ◆ 復旦大学構内の路上。
- ◆ 5～10円で音楽、映像、ソフトウェアのCD、DVDの海賊版を販売)



ゲーム・アニメ等の海賊版についての情報収集や対策の強化③

ACCS

- ◆ 2006年度から、正規流通ルートへの働きかけと、日本国内にも影響するネットワーク上での侵害対策にも着手
 - 海外サイトにおける無断アップロード対策
 - ✓ 中国国家著作権局情報受付フォームへの投稿
 - 海賊版を販売している出版社への警告
 - 大規模小売店（外資系／国営デパートなど）での海賊版販売への警告



日系企業のソフトウェア利用への注意喚起

ACCS

- ◆ 現地日系企業における不正コピーを防止する活動の展開
 - 上海の日系企業対象の主催セミナー「中国でも重要！ソフトウェア・情報管理」を開催（第1回:2005年8月、第2回:2006年3月）
 - 日系企業向け「ソフトウェア管理」パンフレットの作成・配布（2006年7月より配布予定）
 - Webサイトでの日系企業向け注意喚起の実施（2006年度中開設予定）



イタリアでの海賊版販売対策

ACCS

2004年9月	会員企業からイタリア各地で日本製コンテンツの海賊版が大量に販売されているとの相談・調査依頼
12月	会員企業より証拠品入手
2005年1月	第1回現地実態調査 イタリア財務警察に摘発要請
8月	第2回現地実態調査
10月	イタリア財務警察に告訴状提出
2006年1月	イタリア検察官に著作権の証明書類提出
3月	搜索、証拠品押収



現地実態調査①

ACCS

◆ 第1回現地実態調査

- 日 時：2005年1月30日～2月6日
- 調査地域：ローマ、ミラノ、ボローニャ
- 調査対象：アニメDVDなど日本製コンテンツ販売小売店・12店舗
- 調査結果：

地域	調査店舗	うち海賊版 販売店舗
ローマ	5	4
ミラノ	4	1
ボローニャ	3	1



現地実態調査②

ACCS

◆ 第2回現地実態調査

- 日 時：2005年8月28日～9月10日
- 調査地域：ローマ
- 調査対象：ゲーム製品など日本製コンテンツ販売小売店・3店舗
- 調査結果：ゲームソフト海賊版は確認されず。



現地調査結果で判明した事項

ACCS

- ◆ 海賊版販売価格が、アジア地域などと異なり、正規品とほぼ同価格であること(平均25ユーロ 約3,500円)
- ◆ イタリアでは、アニメ音楽も非常に人気が高いが、調査店舗全店で海賊版CDが販売されていること
- ◆ 流通している海賊版は、中国、香港、台湾など、アジア地域で製造されたものであること



捜査機関とのやりとり①

ACCS

◆ イタリア財務警察への相談・摘発要請

- 2005年1月、現地実態調査と併せ、イタリア・バツサーノ財務警察に海賊版販売について情報提供し、摘発を要請
- 同9月、現地実態調査と併せ、捜査の進行状況等、バツサーノ財務警察から報告を受ける
- 同10月、バツサーノ財務警察に告訴状、鑑定書、委任状、特別委任状を提出
- 同10月、裁判管轄がバツサーノからローマへ移管
- 同12月、ローマ検察からの要請により権利証明書を提出
- 2006年3月、摘発



捜査機関とのやりとり②

ACCS

◆ 告訴会社（告訴作品）

- (株)講談社（カードキャプターさくら／封印されたカード）
- (株)スクウェア・エニックス（ファイナルファンタジーX）
- (株)集英社（ナルト）
- ダイナミック企画(株)（新ゲッターロボ、マジンカイザー）
- (株)手塚プロダクション（火の鳥）
- 東映アニメーション(株)（ワンピース／守れ最後の舞台）



摘発

ACCS

- ◆日時：2006年3月20、21日
- ◆検索場所：ローマ(2店)、ボローニャ(1店)市内のアニメショップ
- ◆容疑：著作権法違反
- ◆押収物：アニメ、ゲームなどの海賊版DVD400枚以上、音楽CD、Tシャツなど
- ◆広報：現地駐在の日本メディア記者への説明会開催、日本でのリリース
- ◆掲載メディア：テレビ1件、新聞5件、ネット8件



海外での日本製コンテンツ保護

ACCS

- ◆ 財務警察をはじめとしたイタリア政府機関への継続的な働きかけ
- ◆ SIAE（イタリア著作者出版社協会）との連携
- ◆ イタリア国内での日本製コンテンツの知的財産権の普及・啓発





ご静聴ありがとうございました

ACCS

(日本)電子計算機著作権協会 上海事務所(ACCS上海)

中国上海市楊浦区楊樹浦路2310号白麗大厦809室
(上海知識産権園8楼)

- TEL: +86-21-6121-1136
- FAX: +86-21-6121-1137
- E-mail: shanghai@accsjp.or.jp
- Web: <http://www2.accsjp.or.jp/cn/>

社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会

日本国東京都文京区大塚5-40-18友成フォーサイトビル5階

- TEL: +81-3-5976-5175
- FAX: +81-3-5976-5177
- Web: <http://www2.accsjp.or.jp/>

